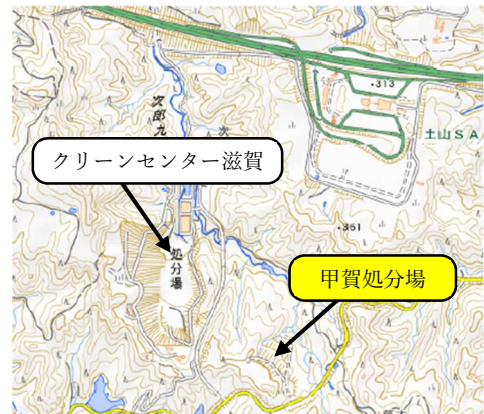


甲賀埋立処分場における pH の低い処理水の放流およびその対応結果について

1. 甲賀埋立処分場（管理型最終処分場）の概要

所在地	甲賀市甲賀町神 569 番 3
敷地面積	4.3 ha
埋立面積	2.1 ha
埋立容量	213,000 m ³ (うち廃棄物量 149,000 m ³)
埋立終了年月日	平成 10 年 6 月 12 日 (平成元年 7 月供用開始)



2. 事案の概要

令和 6 年 7 月 1 日 (月) に発生しました pH の低い処理水の放流について、その経緯や対応状況等については以下のとおりです。

同様の事象が発生しないよう機器の計画的な更新を行うなど、水処理施設の適切な維持管理に努めてまいります。

発生日時	令和 6 年 7 月 1 日 (月) 7 時 40 分ごろ
経緯	甲賀埋立処分場の水処理施設において、放流水の pH が放流水質基準よりも低いことが判明。pH 調整用に硫酸を自動注入しているが、自動制御する pH 変換器の故障により、過剰に硫酸が注入されていた。
対応	硫酸注入装置を停止するとともに、原水ポンプを停止し、処理原水の水処理施設への流入を停止させた。



影響	故障した装置を交換し、施設の点検、pH の値を確認。関係者の確認後、7 月 3 日に放流を再開した。
再発防止対策	処理水の放流先である次郎九郎川にて pH および周辺の状態確認を行ったところ、pH は河川環境基準と比較するとやや低い値であったが、特に異常は認められなかった。 放流前の処理水槽において、pH 異常を検知した場合、処理水の場外排水を停止させるため、水処理施設内の流入ポンプおよびろ過ポンプが自動停止するように制御基盤の改良を実施。 ※従前より流入ポンプが停止すると薬品（硫酸等）の注入ポンプが停止